

思春期患者の 内観・家族内観がもたらす 治療的・発達の寄与

○丹野万樹(心理士)1) 時岡かおり(心理士)1)
太田健介(医師)2)

1) 医療法人耕仁会札幌太田病院 心理内観療法課
2) 医療法人耕仁会札幌太田病院 精神科



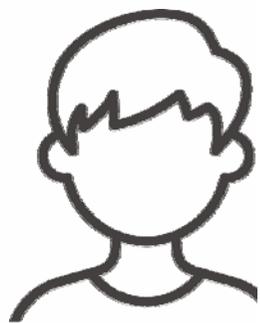
はじめに

- 1974年～

病棟内内観療法（以下、内観）

家族内観療法（以下、家族内観）

家族内観を経験して～思春期患者 編



家族からちゃんと愛情を
もらえていたことに気づいた



悲観的な考えで自分を苦しめて
いたことに気づいた

家族内観を経験して～親 編

きちんと育てないと思ひ、
自分の理想を押し付けていた



子供が自分を殺してきたのだと
思うと申し訳ない気持ち



症例提示 背景情報

《症例》

- 中学生
- 女兒
- 母子家庭

不登校



スマホ依存

不規則な生活



親子関係悪化



当院初診

症例提示 經過



症例提示 家族内観



親にも自分と同じ感情があり、自分と同じ人間なのだと気づいた

自分が父親役・母親役の両方をやらなければいけないプレッシャーを子どもにも背負わせてしまっていた

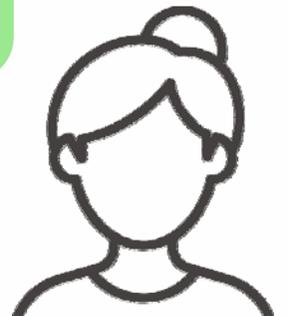


考察



発達の寄与：互いを一人の人間として
再発見・再受容

治療的寄与：登校意欲回復・再登校



考察

思春期



家族



疾患等

心理学的
生物学的
社会的変化

家族の
ライフサイクル
の変化

精神疾患
発達障害
愛着障害
喪失体験
不登校



考察

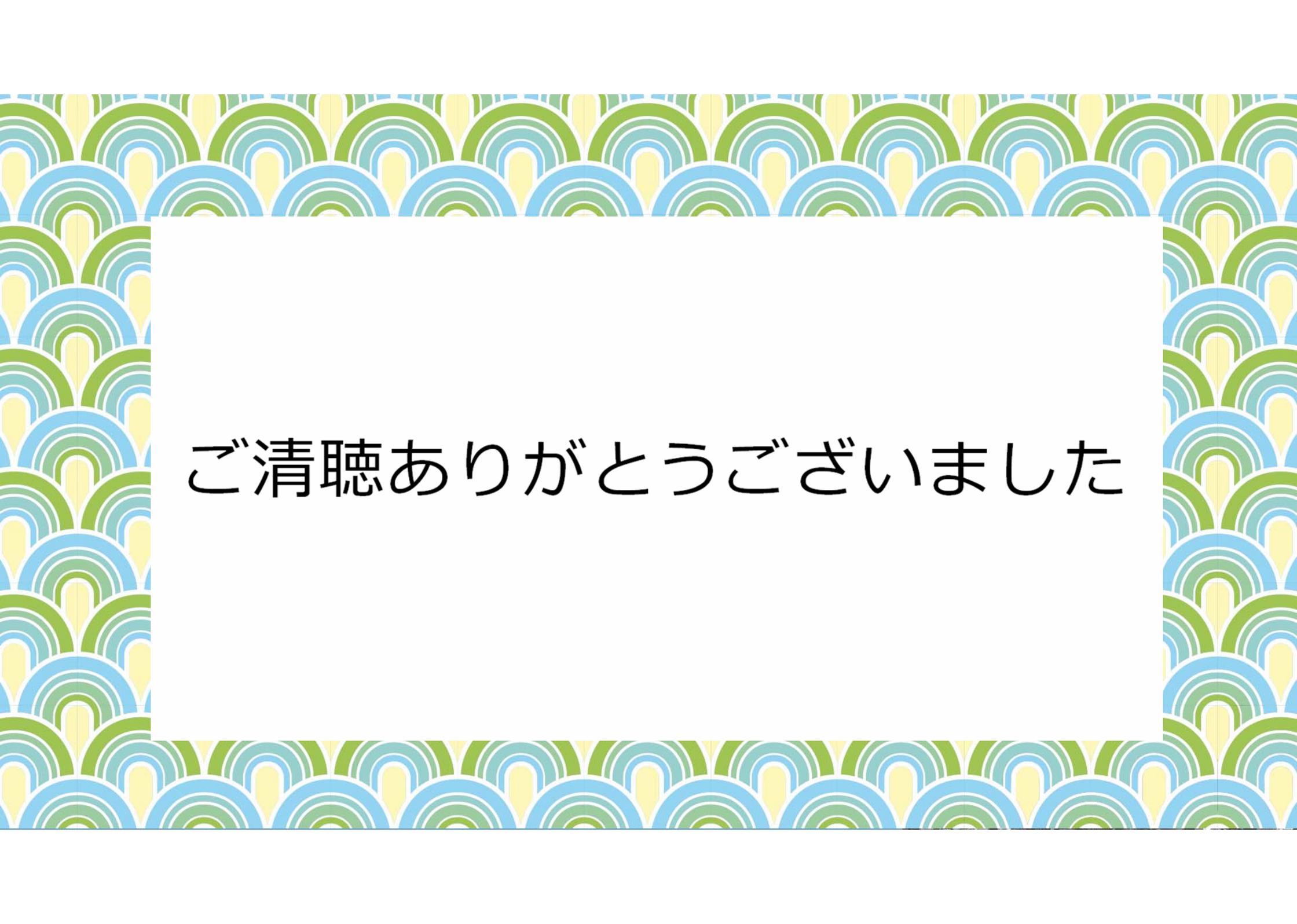
内観・家族内観によって思春期患者の
治療的・発達的な後押しをすることは、
今後も当院の一つの役目であり続ける



参考文献

竹元隆洋 心身医学と内観療法, 心身医, 43(6) , 333-340,
2003

中村伸一 家族療法のいくつかの考え方, 家族社会学研究所,
29(1), 2017,



ご清聴ありがとうございました